



高田千本桜

大和高田市

まるわかり GUIDE BOOK

風土、歴史にめぐまれた

商工のまち 大和高田へようこそ。



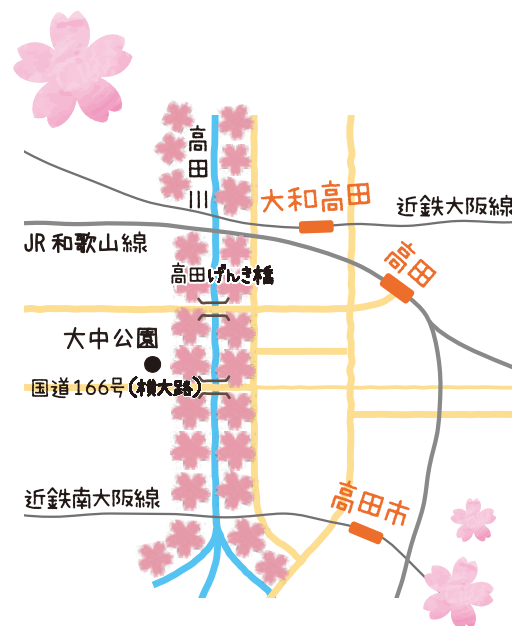


高田千本桜

高田川畔の千本桜は、市制施行の1948年（昭和23年）に市民ボランティアにより植樹されたもので、「高田千本桜」として市民に親しまれています。

3月下旬から4月上旬にかけて、大中公園を中心に川の兩岸南北2.5kmにわたり見事な桜のトンネルが続きます。夜になるとライトアップされた夜桜を見物する人も多く、奈良県を代表する桜の名所となっています。

うきぶたい おうかてん
浮舞台 桜華殿



高田千本桜情報

本数 1,200本

距離 2.5km

露店出店 あり(観桜期)

■ アクセス (大中公園まで)

近鉄大和高田駅・JR 高田駅から、
徒歩約 13 分

近鉄高田市駅から、徒歩約 10 分

■ 駐車場

観桜期のみ臨時駐車場有
(場所と詳細は HP に掲載)



奥田の蓮取り行事

室町時代から連綿と行われてきた吉野山金峯山寺における「蓮華会」の一連の行事であるとともに、役行者の母・刀良売にまつわる「ひとつ目蛙」の伝承に深い関わりをもつ行事で、奈良県の無形民俗文化財に指定されています。

毎年7月7日、捨篠池では蓮取り舟に乗って古式にのっとりおごそかに蓮切りが行われます。その後、善教寺に集まった修験者たちが勇ましいほら貝の音とともに福田寺行者堂から、役行者の母・刀良売の墓に蓮の花を献じて供養し、続いて捨篠池に隣接する弁天神社で護摩法要が営まれます。



善教寺を出発し福田寺へ



刀良売の墓へ蓮の花を供養



弁天神社にて護摩法要

蓮のみちバスツアーも開催

修験者の一行は、一連の行事を終えると、吉野山金峯山寺・蔵王堂での「蓮華会」、「蛙飛び行事」に参加したのち、蓮の花は修験者によって大峰山頂上までの祠に供えられます。

大和高田市では、毎年「奥田の蓮取り行事」と「蛙飛び行事」を見学する「蓮のみちバスツアー」を実施しています。（要事前予約）



蛙飛び行事（金峯山寺）

奥田の蓮取り行事情報

■ アクセス

奥田はす池公園周辺（大和高田市奥田 469-1）

近鉄浮孔駅から、徒歩約 25 分

行事当日は、近鉄大和高田駅、近鉄高田市駅、JR高田駅より

臨時でシャトルバス運行

■ 駐車場

行事当日のみ臨時駐車場有（場所と詳細は HP に掲載）



7/11



大中チャンチャン (春日神社夏祭り)

大和高田市大中 261
近鉄大和高田駅・JR 高田駅から徒歩約 8 分

7/12



野口チャンチャン祭り (野口保食神社夏祭り)

大和高田市野口 71
近鉄尺土駅から徒歩約 10 分

7/14



杵築神社 蔵之宮夏祭り

大和高田市蔵之宮町 13-7
近鉄浮孔駅から徒歩約 10 分

7/14



八幡神社夏祭り

大和高田市本郷町 13-4
JR 高田駅から徒歩約 5 分

7/21



天神社夏祭り

大和高田市三和町 2-15
JR 高田駅から徒歩すぐ
近鉄大和高田駅から徒歩約 5 分

7/末



高田活活まつり

大和高田市本郷町 6-36 さざんかホール周辺
JR 高田駅から徒歩 5 分
近鉄大和高田駅から徒歩約 10 分



7/25



天満神社夏祭り

大和高田市根成柿 614
近鉄浮孔駅から徒歩約 30 分

夏まつり



■大和高田市本郷町 8-15 (☎0745-52-1669)

聖徳太子の創建と伝わるお寺

不動院本堂

不動院は本堂の棟木銘によって、もと証菩提寺と称していたことが知られ、文明 15 年(1483 年)に高田城主であった當麻為長が建立しました。

本堂は室町時代の建築様式をよく残す貴重な建物として、国の重要文化財に指定されています。本尊は大日如来坐像で、市内に残る数少ない鎌倉時代の優れた仏像として市の指定文化財に指定されています。

国指定重要文化財



■大和高田市大字藤森 299

あざやかな赤色の社殿

十二社神社本殿

十二社神社本殿は建立年代を示す資料は確認されていませんが、細部の意匠や部材の加工痕跡などから室町時代中期と推定されています。

一間社隅木入春日造で、奈良県内における中世に遡る神社本殿として歴史的に重要であることから国の重要文化財に指定されています。境内の観音堂(旧慈雲寺)には、平安時代後期の木造十一面観音立像と木造二天王立像が安置されており、市の指定文化財に指定されています。



ご本尊は出世仏

弥勒寺さんの

もく ぞう み ろく ぶつ ざ ぞう

木造弥勒仏坐像

弥勒寺の本尊である弥勒仏坐像は、高さ147.3センチメートルをはかる大型の像で、広葉樹の一材から彫り出されています。穏やかな丸顔の表情や整理された衣文などから平安時代後期の製作と推定されています。

脚部も含めて一材から彫り出す手法が特徴的で、国の重要文化財に指定されています。そのほか、耳たぶに網目文様が刻まれているのが特徴です。

Q

なぜ出世仏と呼ばれているの？

平成 21 年(2009 年)、長らく住職不在だった弥勒寺に現在の住職が着任されたのを契機として、それまで本堂の奥に埋もれていた仏様は専門家によって高い評価を受け、平成 22 年(2010 年)に奈良県の有形文化財に指定されました。その 2 年後の平成 24 年(2012 年)には異例のスピードで国の重要文化財に指定されました。トントン拍子で重要文化財へと出世されたことから、「出世仏」と親しまれるようになりました。



文化財 PR キャラクター ゆぎ丸

弥勒寺

弥勒寺は寺伝によると、天文 7 年(1538 年)に地侍であった土庫氏によって建立されたとありますが詳しいことはわかっていません。

境内には、延享元年(1744 年)に鑄造された重さ 375 キログラム(百貫)をはかる梵鐘を吊るす鐘楼があります。「妙音の鐘」と称され、現在は電動式で正午と夕方 6 時に時の鐘が鳴り響きます。



■大和高田市土庫 2-8-13 (☎0745-22-7578)

史跡・遺跡



■大和高田市内本町 10-19 (☎0745-52-5180)



野口雨情歌碑

庭園には、季節ごとに花しょうぶ、あじさい、レンゲなどが咲き、訪れる人々の心を和ませてくれます。

専立寺 せんりゅうじ

専立寺は慶長5年(1600年)に建立された寺院で、旧大和五ヶ所御坊の一つであったことから、現在も「御坊さん」と呼ばれ広く親しまれています。今日の大和高田市発祥ともいえる商人の町である寺内町を形成しました。豪華な彫刻を施した表門と御坊格の真宗寺院にふさわしい太鼓楼は5本の定規筋が入った築地塀でつながれ、これらは市の指定文化財に指定されています。

表門のわきには「野口雨情歌碑」があります。野口雨情は大正から昭和にかけて活躍した詩人で、代表作に「七つの子」「赤い靴」などがあります。本市を何度も訪れた雨情は「高田小唄」も作詞していて、レコード化もされています。



■大和高田市曾大根 575 (☎0745-52-4283)

名称寺 みょうしょうじ

名称寺は、建武2年(1335年)に広陵町百済に建立され、康正元年(1455年)に現在の位置(曾大根)に移されたと伝えられています。

石山合戦(1570~1580年)では織田信長方の軍勢とも戦っており、当時の掘割が今も残っています。

竹内街道・横大路(大道)沿道の文化財

竹内街道とともに大阪府と奈良県を東西に結ぶ横大路は、『日本書紀』の推古天皇21年(613年)の条に「難波より京(飛鳥)に至る大道を置く」と記された「大道」のルートと重なることから、わが

国最古の国道と呼ばれ、平成29年(2017年)、日本遺産「1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」~竹内街道・横大路(大道)~」に認定されました。



緑の一里塚(大中公園)



横大路に残る街並み(永和町)



■大和高田市根成柿 614 (☎0745-53-0826)

天満神社 てんまじんじや

旧郷社で、建立時期については諸説あって定まっていません。菅原道真公をお祀りしています。本殿と摂社である八幡神社本殿は保存状態のよい近世初期の社殿として、県の有形文化財に指定されています。



■大和高田市三和町 2-15 (☎0745-52-3382)

天神社 てんじんじや

旧郷社で、古来より旧高田町内の総氏神として市内はもとより近郷一円の崇敬を集めた神社です。貞応元年(1222年)、當麻為清ら當麻一族によって建立され、以来、當麻氏がいく度も修復を重ねてきたことが、神社に残る棟木や棟札から知ることができます。



■大和高田市片塩町 15-33 (☎0745-52-6855)

龍王宮 りゅうおうぐう

龍王宮は、石園座多久虫玉神社といい、市内で唯一の延喜式内社です。本社は第3代安寧天皇の片塩浮穴宮跡の伝承地と伝えられており、境内には石碑が建てられています。

長谷本寺 はせほんじ



■大和高田市南本町 7-17 (☎0745-52-1738)

長谷本寺は寺伝によると和同・養老年中(708~715年)、南都の僧・大満の開基と伝えられています。平安時代の作である本尊の木造十一面観音立像と木造毘沙門天立像は県の有形文化財に指定されています。

太神宮の高燈籠 だいじんぐうのたかとうろう



■大和高田市旭北町 3-26 付近

江戸時代以降、伊勢神宮に村の安全を祈願した奉納物として、また、旅の道しるべや往来安全、そのほか、村の守り神として建立されました。石積みをした基壇に建つことから「太神宮の高燈籠」と呼ばれています。



■大和高田市築山周辺



■大和高田市本郷町 9-27



■大和高田市旭北町 2 (常光寺公園内)



■大和高田市藤森 307 付近

西宮神社の四季農耕図絵馬



四季農耕図絵馬写真
原品は奈良県立民俗博物館へ寄託中



■大和高田市曾大根 94

築山古墳

古墳時代、4世紀末ごろに築造された前方後円墳です。馬見丘陵に展開する馬見古墳群の南端に位置しています。墳丘の長さは約210メートルをはかります。かつては武烈天皇陵に治定されたこともあります。現在は宮内庁によって「磐園陵墓参考地」として管理されています。

日本聖公会高田基督教会堂

明治22年（1889年）に建設された教会堂です。大正12年（1923年）に一部増築されましたが、礼拝堂前方に当初の形式を残しています。県内に残るキリスト教建築のうち最も古いとみられ、明治期におけるキリスト教初期の建築として県の有形文化財に指定されています。

高田城址

高田城は、現在の片塩小学校、常光寺池一帯にあったとされています。永享4年（1432年）室町幕府6代将軍・足利義満の命により當麻氏が城主に任じられ、その後、約150年間にわたり戦国武士が群雄割拠した時代に重要な役割を果たしました。今、この地には、常光寺に隣接して、石碑が建てられ、往時をしのばせます。

藤森環濠集落

濠（堀）に囲まれた、いわゆる環濠集落は水利と村落防衛のために造られたと考えられています。市内には有井、池尻、松塚、土庫、岡崎、磯野などに環濠が残っています。なかでもこの藤森の環濠がよくその姿をとどめています。

しずか こ ぜん

静御前にゆかりのある伝承地～静御前の遺跡～

磯野村の古地図には、静御前とのかかわりを示す痕跡として「衣掛けの松」「住居の跡」「静御前の塚」が記されています。「衣掛けの松」と「住居の跡」はその痕跡をとどめませんが、「静御前の塚」は現在も人々の間で伝承されています。

静御前記念碑

静御前と大和高田市とのかかわりを記念して、静御前の生涯を伝える記念碑が市のボランティア団体によって大中公園に建てられました。



■大和高田市大中 183 (大中公園内)

弁慶の七つ石

古来、当麻詣の道として知られた当麻街道沿いに鎮座する春日神社の境内に七つの石が置かれています。源義経一行が兄の頼朝に追われた際に静御前の母親である磯野禅尼が暮らす磯野の地を訪ね、境内の石に腰をかけて一休みしたという言い伝えがあります。



■大和高田市大中 261 (春日神社境内)

高田川と中央道路

大和高田市の中心市街地を南北に貫く「県道大和高田・斑鳩線」、通称「中央道路」は、かつては高田川でした。大雨時にしばしば氾濫し、大きな被害が出ていたことから、昭和7年（1932年）から11年の歳月をかけて現在の高田川に付け替え工事が行われました。

残された橋の一部とともに、顕彰板が設置され、歴史の流れと先人のさまざまな功労を顧みることができるようになりました。毎日行き交っていた人たちのにぎわいに、思いを馳せたいものです。



おおはし
大橋



こうじん
好仁橋



てんじん
天神橋



ふるかわ
古川橋



ひなくら
雛倉橋

大和高田市 ウォーキングコース

コース
1

近鉄大和高田駅からのおすすめコース 約3 km (60分)



コース
2

JR 高田駅からのおすすめコース 約5 km (100分)



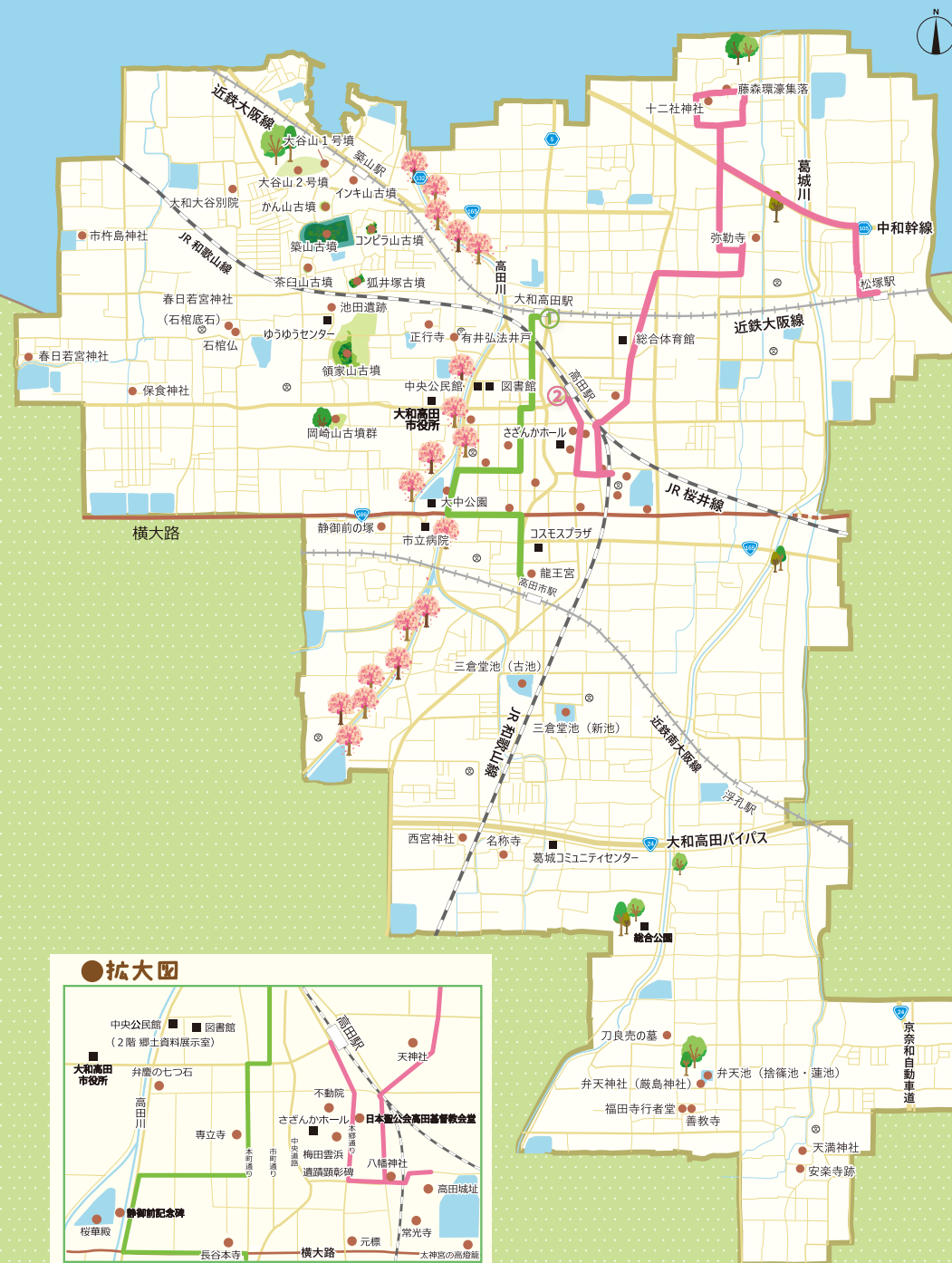
大和高田市文化財 ボランティアガイドの会

当会は、本市を訪れるお客様に市内に残る文化財や歴史を紹介し、観光振興や文化財の保護に貢献することを目的として発足しました。

本市の魅力をお伝えし「大和高田に来て良かった」「また来たい」と思ってもらえるよう、おもてなしの心を持ってガイドしています。



大和高田市文化財ボランティアガイドの会
事務局（生涯学習課 ☎0745-53-6264）



大和高田市歳時記



1月 5日・6日 龍王宮初えびす祭り
10日 天神社えびす祭り

2月

3月 下旬 高田千本桜



高田千本桜

4月 上旬 高田千本桜
8日 龍王宮御田植祭り(祈念折り)
17日 天神社おんだ祭り
下旬 春のおかげ祭り

5月

名称寺つつじ

6月



不動院(大日堂)
あじさい

7月 7日 奥田の蓮取り行事
弁天神社夏祭り
8日 龍王宮夏祭り(神事のみ)
11日 大中チャンチャン(春日神社夏祭り)
12日 野口チャンチャン祭り(野口養食神社夏祭り)
14日 八幡神社夏祭り
杵築神社 蔵之宮夏祭り
21日 天神社夏祭り
24日 出地蔵祭り
25日 天満神社夏祭り
下旬 高田活まつり



蓮
わたの花

8月

9月

10月

11日 天神社秋祭り
中旬 龍王宮秋祭り
高田おかげ祭り



コスモス

11月

中旬 やまとたかだ
産業フェア&元氣フェスタ
交通安全&子育てフェスティバル

12月



大中公園 もみじ



さざんか

大和高田市の特産品

大和高田市特産野菜5品目



大和高田市は葛城川の扇状地にあり、野菜の栽培に適した土壌で盆地特有の寒暖の差が素晴らしい産地を形成しています。大和高田市では「きくな」「こまつな」「しろな」「ねぎ」「ほうれんそう」の5品目を「大和高田市特産野菜」としてブランド化し、栽培の普及と出荷に努めています。

大和高田市マスコットキャラクター

みくちゃん



市制50周年の平成9年(1997年)にみくちゃんは誕生しました。「未来」を「みく」と呼んで名付けられたみくちゃんの名前には大和高田市が未来へはばたきますようにという願いが込められています。

みくちゃんグッズを販売しています



○販売場所 市民交流センター2階 喫茶コーナー
(大和高田市片塩町12-5)
午前10時~午後4時(月・火曜 定休日)

みくちゃんのにっこりんぐ

長年地元で愛されている洋菓子店「エンジェ」さんとのコラボスイーツでプレーン・チーズ・キャラメルなど多彩にラインアップしています。

○販売場所 エンジェパティスリーカワモト(大和高田市本郷町2-9)
午前10時~午後7時(水曜 定休日 臨時休業あり)



About Yamatotakada

～大和高田市ってこんなまち～

1948年（昭和23年）1月1日、奈良市に次いで、県下2番目の市として市制を施行しました。奈良県の北西、大和盆地の南西に位置します。全市域にわたりほぼ平坦な地形で二上山や金剛葛城山系の景色の移り変わりが毎日を新鮮な気持ちにさせてくれます。

中将姫伝説の當麻寺（葛城市）へは車で10分、世界遺産の法隆寺（斑鳩町）、古代ロマンあふれる明日香村へは車で30分の至便な立地条件です。

市内にある6駅の鉄道を使えば、大阪中心部まで30分程度で行くことができ、利便性はもちろん、歴史を感じられるまちです。



人口

62,470人
(令和5年12月1日現在)

面積

16.48km²

市の木

さざんか
昭和52年4月
市民投票によって
決定

姉妹
都市

リズモー市
オーストラリア
ニューサウスウェールズ州

奈良県

市の花

コスモス
平成16年4月
市民投票によって
決定



令和3年に新しくなった大和高田市役所

▶▶▶ コミュニティバス きぼう号



きぼう号は、市民交流センターを乗り継ぎ拠点として、バス3台での3路線6系統（各路線、内回り・外回り）で運行しています。

運賃

片道：100円 1日乗車券：200円
回数券1,000円
(100円×11枚つづりで1,100円分利用可能)

☑ 大和高田市の観光情報をチェック



☑ 市政情報コーナー

市役所1階にある市政情報コーナーには、市内のイベント情報はもちろん、広報誌「やまとたかだ」や、県内のイベントのチラシやパンフレットなどを置いています。

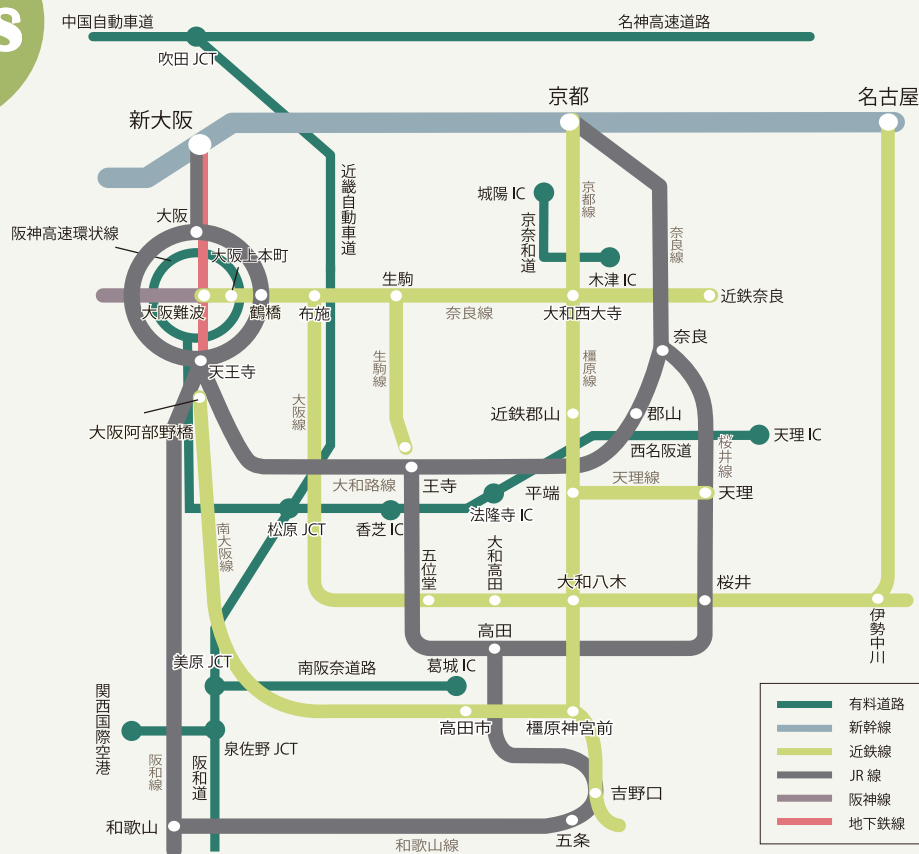


☑ 観光情報サイト

大和高田市の旬な観光情報をお届けする観光情報サイトです。市内のイベント情報や、桜の開花状況、年間行事などの観光情報を掲載しています。



ACCESS



電車の場合

近鉄大阪線大阪上本町駅から「快速急行」「急行」で約30分
 近鉄南大阪線大阪阿倍野橋駅から「急行」「区間急行」で約30分
 JR大和路線天王寺駅から王寺駅「大和路快速」、王寺駅から高田駅「普通」で約35分

車の場合

大阪方面から「西名阪自動車道」の法隆寺インターで降り、約20分
 「南阪奈道路」～「国道165号 大和高田バイパス」から約10分
 奈良市内から「国道24号」で約50分



大和高田市役所

〒635-8511 奈良県大和高田市大字大中 98 番地 4

TEL : 0745-22-1101 (代) FAX : 0745-52-2801

URL : <https://www.city.yamatotakada.nara.jp/>